

～第11回(平成24年度)学生生活実態調査報告書から検証～

兵教生が持ち歩く通信端末

放課後の過ごし方とも関係しているのか？

キャンパス内で持ち歩いている通信端末について調査したところ、学部生はスマートフォン(69.2%)、大学院修士課程、専門職学位課程、博士課程はいずれもノートパソコン(55.0%、73.6%、72.2%)が多いことが分かった。この結果は、学部生はクラブやバイト、大学院生は主に研究と、授業後の過ごし方が関係していると推測できる。

また、学部生、大学院生とも携帯電話よりスマートフォンの所有率が高かったが、学部生は35.9ポイント差と圧倒的なのに対し、大学院生はそこまでの開きはない。平均年齢の若い学部生の方が新しいアイテムにスムーズに対応しやすいという表れなのかもしれない。

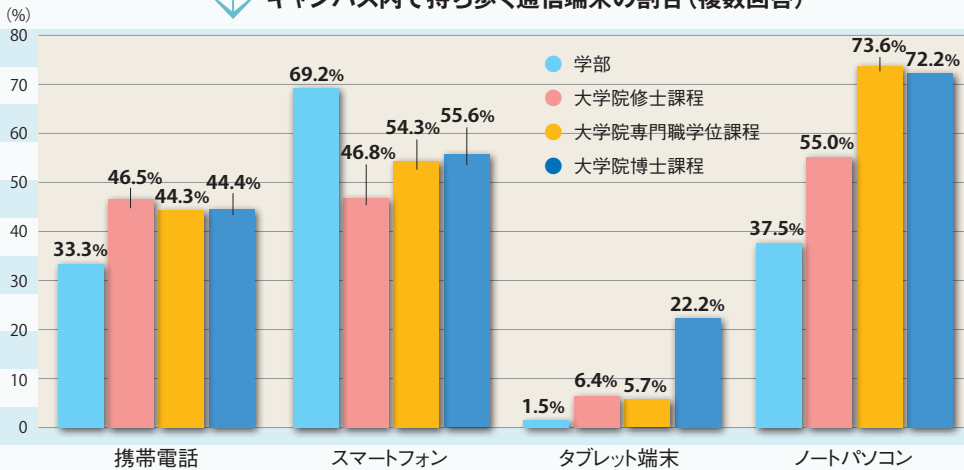
無線LANの整備によって今後のデータにも変化も



こわだ よしゆき
小和田善之教授
認識形成系教育コース[自然系教育分野(理科)]

学部生はパソコンよりもスマートフォンの所有率が高く、インターネットへの接続もスマートフォンを使うことが多そうです。これは学生寄宿舎に無線LANによる接続環境がないことが一因かもしれません。一方、大学院生はパソコンの所有率が高く、研究などで日常的に利用している様子が見えます。今後、学内の無線LAN環境の整備が計画されているので、全体としてパソコン所有率が上がる可能性があります。いずれにしても、昨今はパソコン、スマートフォン共にウイルスの被害が見られますので、アンチウイルスソフトなどの使用をお勧めします。

キャンパス内で持ち歩く通信端末の割合(複数回答)



スマホにLINE
今どきのマスト

かど やまこと
角谷真さん
学校教育学部
自然系コース3年



ここ1、2年で学内のスマホ率はぐっと上がりました。スマホを持っているほとんどの人が、「LINE」という無料で通話やチャットができるアプリを使っています。LINEにはグループ内で手軽に連絡を取れる機能があり、部員同士の連絡網として使っているクラブもあります。今年度の新生たちはメールアドレスではなくLINEのIDを交換し合う姿が見られ、スマホとLINEの急速な普及を実感しました。

バッグの中には
ノートパソコン



たき あや
瀧綾さん
大学院専門職学位課程
小学校教員養成特別コース3年

レポート作成や発表準備、就職活動など、パソコンはさまざまな用途に欠かせません。無線LANが整っている図書館や食堂、学生ホールでノートパソコンを開くこともよくあります。また、大学院のeラーニングやSNSも充実しており、研究に必要な情報がすぐに得られます。休講のお知らせなどは携帯にも配信されるなど、日々、学内のICTの利便性を感じています。